

小田川河川敷を活用したサイクリングやシクロクロス振興（内子町）

【取組概要】

- 「いかざきの杜公園」など、ふるさとの川整備区間の修景、再生によって、地域住民や来訪者の憩いと交流の場をつくる。
- その一環として、周辺が愛媛マルゴト自転車道のファミリーコースとなっていることから、のんびりと周辺散策を家族で楽しむサイクリングコースとしての整備を図る。
- 小田川河川敷をシクロクロスのメッカとする。

人口 17,708人

担当部署 建設デザイン課
事業実施期間 H25年4月～
取組事例のURL



【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

近自然工法発祥の地として知られる五十崎地区の小田川河川敷並びに河川沿いは、サイクリングコースとして、またシクロクロスなどの自転車競技場として多種多様な利用が可能である。

※第2回小田川シクロクロスin内子
平成26年12月21日開催

1. 多様な文化と歴史を有する五十崎エリアから、小田川沿いに内子・小田エリアと続くサイクリングコースの整備を図る。
2. 道の駅を拠点としたサイクルオアシスの整備や、サイクリングの日に合わせた県や近隣市町と連携したイベント等を検討する。



小田川シクロクロスin内子の様子